



国際会長

2020-2021年度主題

Jacob Kristensen (DK)

「価値観・エクステンション・リーダーシップ」

“Values, Extension and Leadership”

アジア太平洋地域会長 David Lua (SG)

「変化をもたらそう」 “Make a Different”

東日本区理事

板村哲也 (東京武蔵野多摩)

「変化をたのしもう」 “Le’s enjoy Changes”

クラブ会長

鈴木 茂

「相手の立場に立って考え、行動しよう！」

スローガン：「思いやりのあるクラブ運営」

2019-2020 クラブ役員

会長 鈴木 茂

副会長 辻 剛

書記 今城 高之

会計 鈴木 恭子

今月の成句

「わたしたちは、四方から苦しめられても行き詰まらず、途方に暮れても失望せず、虐げられても見捨てられず、打ち倒されても滅ぼされない。わたしたちは、いつもイエスの死を体にまとっています、イエスの命がこの体に現れるために。」

(Ⅱ コリント書4：8-10)

《巻頭メッセージ》

林 茂博

キーワードは「ダイバシティ(多様性)」

約25年前、外資系企業の人材開発部門に勤務していたことがあります。定期的に担当者会議が招集されましたが、参加者に博士号を持つ者がゴロゴロいて、国内企業との違いに驚きました。当時まだコンピューターが高価な頃に、コンピューターによる教育・訓練プログラムの開発が盛んに行われていました。

そのころの会議では、「diversityダイバシティ」と「stereotypeステレオタイプ」という言葉が飛び交い、この課題について盛んに議論されていました。自分の未熟な英語力と不勉強のため、彼らの討論になかなか入っていけなかったのですが、アメリカの現状をみると、今日引き続きその重要性があることがよくわかります。

「ステレオタイプ」とは、特定の間人集団に対して「彼らはみんなXXだ」というように決めつけた見方を言います。一方「ダイバシティ(多様性)」は、人種、民族、性別、年齢、障がいの有無、宗教、性的指向、家族形態などのさまざまな違いによる差別や偏見のない、一人ひとりの個性が尊重される社会を目指します。

さて、YMCAはバレーボールやバスケットボールなどを発案するなど、先駆的な活動を行ってきました。近年は「ウェルネス」という概念を世に広め、定着させてきました。(余談ですが、私の肺腺癌を見つけてくれた主治医が独立・開業する医院名が「ウェルネス宮前クリニック」と聞き驚きました。)

この度YMCAはブランドコンセプトのVisionに『互いを認め合い、高め合う「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。』を掲げています。

「ポジティブネット」Positive Netとは、互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと。とHPにあります。まさに「ダイバシティ(多様性)」の流れと同調しているのではないのでしょうか。

そして、その実践活動としてオルタナティブ・プログラム展開しています。このプログラムは、発達障がい支援に向けて、公教育以外のオルタナティブ(もう一つの、別の選択)な学習の場、そして子どもたちの「居場所」を提供しています。

横浜YMCAのHPによれば、『発達・教育支援プログラムは1995年4月にスタートし、20年以上にわたって子どもたちへの支援を続けています。いつの時代も願ってきたのは「一人ひとりが輝くために」ということです。学び方や特性に合わせた支援はもちろんですが、「できること・やりたいことがみつき、友だちや支援者とながり、より良い人生を送るための土台をつくる」そんな場所であり続けたいと願っています。』とあります。

ぜひ聞きなれない「オルタナティブ(もう一つの、別の選択)」という考え方が世に広まり、定着していくよう、私たちのクラブも支援していきましょう。(完)



10月本例会

日時 10月23日(金)17:00～

場所 かけはし都筑

《プログラム》

- 1.開会点鐘 会長
- 2.ワイズソング・信条唱和 一同
- 3.今月の聖句 チャプレン
- 4.ゲスト・ビジターの紹介 司会
- 5.会長挨拶 会長

6.卓話 坂口 直樹さん

演題：

「情報セキュリティについて」

7.協議・報告事項

8.YMCA報告

9.Happy Birthday

今城宏子さん (10/3)

10.スマイル・アピール

11.閉会点鐘 会長

※会食会は中止

《例会報告》

9 月 本 例 会

報告者 岡崎さよ子

日時 2020年9月19日(金) 14:30~16:30

場所 かけはし都筑

司会：林 茂博 受付：岡崎 さよ子

出席者：今城T・H、岡崎、岡田、鴨下、鈴木K・S、
辻T・Ts、林S、福島、横田

ゲスト：高松 満至

ビジター：古賀健一郎、深尾香子、石田孝次

(以上敬称略/合計出席者16名)

1. 開会

鈴木会長の開会点鐘に続き、一同でワイズソング・ワイズの信条を唱和

2. 今週の聖句

相賀チャプレンより寄せられた聖句と祈禱を司会者が代読

3. 司会者によりゲスト・ビジターの紹介が行われた

深尾さん、石田さんは当日の卓話者で、共に多摩みなみクラブの所属。古賀さんは横浜クラブ所属。

4. 会長挨拶

ゲスト・ビジターに対する歓迎とコロナ禍の中で例会を守ることができることへの感謝が述べられた。

5. 卓話

石田孝次さんは「ワイズ活動とファンドレイジングの両立」のテーマで講演。ボランティア活動の維持・継続にとって不可欠のファンドレイジングの考え方についての考察が述べられた、供給サイドからのアプローチとして「自助・公助・共助」がそれぞれ補完しあうことの重要性、チャリティとボランティアの共通点、相違点などに言及された。**深尾香子**さんは景福庵名倉宗香と名乗られる茶道江戸千家蓮華庵教授。「温故知新～コロナ禍で子供たちに教えるべきこと」の演題で卓話。

●教室では子供たちに、手洗い・うがいなど、安心・安全につながる知恵、新しい生活様式を教えている。

●“きれい”は気持ちから。茶室に客を迎える前に、掛け軸、花入れ等を配し、掃除を終えて着物を着換える(茶会開始までに大変な仕事を行う)

●茶室では、終始無言でお菓子、食事等でおもてなす。

●畳一畳の大きさが基準。京間(6尺3寸×3尺1寸5分)、中京間(6尺×3尺)、江戸間など。

●体験→体感→習慣 となる

6. 協議・報告事項

①本例会、事務例会へのZOOM導入(ハイブリッド

型)は当面見合わせる。

②湘南・沖縄部のCS支援事業について、You&Iに代わるプログラムとしてスプーン等の支援プログラムを取り上げたい。

③会員増強対策として、知人・友人などで入会候補者と思われる方がおられるとリストアップして一元的に対応する。プリテン読者リストにも加える。

④募集中の「ポジティブネット募金」(YMCA学院への海外留学生支援)への協力要請。所定の方式で鴨下館長に届けることとする。

⑤第53回横浜YMCAチャリランは、変則方式で開催される。当クラブとして、今回は1チームでエントリー。各チームごとに実施し、記録を横浜YMCAで集計して表彰。

⑥今年度の湘南・沖縄部会が10月3日に湘南とつかYMCAで開催される。鈴木S、辻Ts、林S、今城Tが出席の予定。

7. YMCA報告

鴨下館長より、コロナ禍のもとでの活動につき概要が報告された。なお、例年11月3日開催のバザーは中止となる。

8. Happy Birthday (該当者なし)

9. アピール等

◇都筑区社協主催の「ボランティア交流会」が11月18日10:00-11:30にかけはし都筑で開催。コロナ禍のもとでのボランティア活動の問題につき澤田詩野氏の講演。

10. 鈴木会長の閉会点鐘で閉会。会場の消毒、整理の後散会。



石田孝次、深尾香子両ワイズ(多摩みなみクラブ)を講師に迎えて9月の例会が行われました。

《参加報告》

第23回湘南・沖縄部大会

報告者：今城 宏子

主題：クラブを超えてワイズ間の交流を図り、
共にYMCAに仕えよう

日時：2020年10月3日（土）15時～17時
@湘南とつかYMCA

クラブ出席者：相賀 昇、鈴木 茂、辻 剛、林 茂博、
今城宏子

《プログラム》

第一部 開会礼拝 15:00～15:15

司会：瀬戸敏孝主事（湘南とつかY）

聖書：ローマの信徒への手紙 8章26、28節

奨励：「万事が益となるように」

相賀昇牧師（横浜つづき、田園都筑教会）

環境破壊の中で、どうして良いか分からないこの大ピンチにおいて、神様ご自身が私達と共に居て重荷を背負って下さる。最悪のことからも良いものが引き出される。イエス様の死と復活により赦しと和解、平和への道が開かれた。挫折の中で、不幸な経験がそれだけで終わらない。神様の助けでそれは起こる。2010年の世界大会において「私達の命・未来」という主題が示された。人間は自然界の中にいる。Y's, YMCAのメンバーとして召されている私達！主にすべてを委ね、なすべき業を担っていきたい。神の愛を信じて。

祈祷：相賀牧師

献金：「COVID-19禍 留学生・専門学校生支援のために」感謝祈祷：古賀健一郎（横浜）

黙祷

第二部 部会 15:15～15:45 司会：伊藤部書記

開会点鐘：古田 湘南・沖縄部長

ワイズの信条：一同

出席者紹介：山田敏明東日本区直前理事、佐竹博横浜YMCA総主事、各クラブ参加者

部長挨拶・報告に続き、来賓お二方の挨拶を頂いた。

アピールタイム：

◇エクステンション委員長から「つながりマスク」の報告とアピール

◇各クラブ会長のアピール（横浜：90周年！、金沢八景・横浜つづき：15周年など）

◇第24回東日本区大会アピール：ホストの甲府21クラブより。

第三部 記念講演 15:45～16:55

司会：伊藤誠彦部書記

演題：「気候変動を止めるために今日からできること」

講師：鈴木弥也子氏

（紹介）

◇明治学院大学法学部4年在籍。横須賀YMCAキャンプリーダー。

◇アジア・太平洋YMCA同盟環境問題ユースグループに日本代表として参加

◇「Friday For Future横須賀」設立メンバー。

◇日本の「グレタ世代」の若者の一人。

◇YMCAとはキャンパーからの関わり。

（概要）

●香港の民主化デモにおけるアグネスさん達の戦いを見て、平和ボケを感じた。

●環境問題、FFFの活動にも衝撃を受け、デモを主催。

●9月25日のシューズアクション「私達は気候変動を止められる最後の世代」を見て「気候変動」は生死にかかわると感じた。（2100年の天気予報の動画）

●「きょうから始められるアクション」として再エネ電力会社への切り替え、持続可能な考え方を、お肉を食べない日を設ける。

●個人個人の変化よりシステムの変化が求められる。「あなたがこの世で見たと思う世界の変化に。あなた自身がなりなさい」ガンジー

その他、進行中の様々な活動などの紹介があった。

（田口同盟総主事のご挨拶）

●人間の生き方を変えないと気候変動は止められない。

●YMCA、保育所等は自然エネルギーに変換して行っている。個人の家庭にも広げたい。

●SDG sを進めていく。

※礼拝の席上献金44,890円に会費の残金約3万円を合わせ、横浜YMCAに献金させて頂く旨、古田部長から報告があり、閉会点鐘をもって閉会となった。（完）



（感染防止を配慮し、着席のままの記念撮影）

《特別報告》

湘南・沖縄部 第1回次期部長選考委員会

～議事経過～

湘南・沖縄部では目下、次期部長選考が難航しており、本来であれば次期の次期部長選考の協議に入るべきこの時点でも、次期（2021-22年度）部長の目途がついていない。前年度の第3回部評議会（2020年4月11日開催）において、部則細則に定められた部長選出方法（本人の立候補あるいは部長またはクラブ会長からの推薦がある場合も含め、「次期部長選考委員会」において協議され、評議会の承認を得て選出）だけでは成果を得ることは難しいとして、第2段階の手段が検討され、輪番制を採用する案が提案されたが、その具体的な内容については決定に至っていなかった。

輪番制の方法については、①クラブごとの順番制とする（どのような順番とするかが課題）、②部内9クラブをA、

Bの2グループに分け、相互の輪番制とする、③部内9クラブを湘南地区の2グループと沖縄2クラブの3グループに分け、3グループ間の輪番制とする、などの案が提案されたが結論を得ることはできず、部執行部に具体的内容提示を一任し、次回10月24日の選考委員会で決定することになった。

日時：2020年10月3日(土)13:00~14:30

会場：横浜とつかYMCA 404教室

構成員：部役員及び監事、各クラブ会長。

つづきクラブ参加者：辻 剛・鈴木 茂

今城宏子（陪席）

（報告 鈴木 茂）

《トピックス》

“千葉に新クラブ誕生”

去る10月3日に開催された関東東部大会に併催された「千葉ウエストクラブ」（会長：高田一彦さん）の国際協会加盟認証状伝達式（チャーターナイト）は、コロナ禍の厳しい制限の中、関東東部各クラブ代表者が集い無事執り行われました。この「千葉ウエストクラブ」は関東東部で11番目、東日本区では61番目のクラブとなりま

（浅草橋ヒューリックカンファレンスでのチャーターナイト）



会長のひと言

“差別の問題とワイズの精神”

会長 鈴木 茂

コロナウイルス感染が広がる中で今、各国で貧困層に犠牲者が集中している事実を背景として、格差や差別の問題が強く意識されています。また米国では、白人警官による黒人殺害事件をきっかけとして、人種差別問題が先鋭化しています。日本でも、「津久井やまゆり園」の重度障害者殺傷事件や日本に居住する朝鮮半島出身者等に対するヘイトスピーチなど、差別と偏見に起因する悲しむべき事件が相次いでいます。

ワイズメンズクラブが掲げるモットーは、国際聖句「すべての人を一つにしてください」（ヨハネ17:21）でも示されているように、「人を人種、国籍、出身地、宗教、性別、心身の特徴等によって差別しない」という精神にあると思います。

つづきクラブでは10年前から“You & I コンサート”を開催してきましたが、これはクラシックコンサートから排除される傾向にある障害者と共に参加して、一緒にコンサートを楽しむという趣旨の試みであります。つづきクラブはこれからも、差別されている人びとと共に生きる活動を続けていきたいと思っています。（完）

訂正とお詫び

9月号ブリテン5頁の9月度事務例会報告 3-1.例会の開始時間についての表中、11月事務例会の開催日が11/9とあるのは11/10の誤りです。訂正してお詫びします。

（編集子）

加び計でい皆越マン委▽てきのの▽
 の画 `▽さえスシ員当きて活勢何
 ま機さこ鈴んてクヨ長クまお動い時
 し会れの木も広ーンをラしりははに
 よにてと会注がは委務づた `、衰な
 うおいこ長目りク員め副 `本少えつ
 °友まるのしつら会る会嬉誌しまて
 達す `熱てつづの部長しのずせも
 °も `毎心いあやーののい記つん
 編誘新月なてり部つエ辻限事広が型
 集った卓働くまのなクさりもが `コ
 子てな話さだす枠がスんで増つ我口
)参学が `さ `をりテがすえて々ナ

編集集後記

《11月例会の卓話予告》

11月27日（金） 17：00～

講師：中村 靖さん

演題：樹木資源の活用 ～感動樹木ウォッチングの楽しみ～

《中村靖さんのプロフィール》

- ◇ 1999年3月まで企業の研究所で自動化システムの研究開発に従事。
- ◇ 1999年4月から2012年3月まで広島工業大学情報学部教授として情報関係の教育研究に従事。
- ◇ 2012年4月以降は森林インストラクターの資格を取り、横浜市と島根・川本町の2住（二重）生活をしながら、森林や樹木の価値・魅力をアピールする活動に従事。
- ◇ 資格など：森林活動ガイド、島根県森林インストラクター、工学博士、広島工業大学名誉教授。



北 Y 便り

横浜北YMCA 館長 鴨下 純久



～サマーキャンプを振り返って～

キャンプ100周年の年にコロナ禍の影響を受け、大幅に予定を変更して実施したサマーキャンプを少し振り返ってみたいと思います。

例年は4月末にサマーキャンプの案内を始め、5月下旬から受付を開始するスケジュールで進むのですが、今年度は募集を開始したのが6月末となりました。5月末まで緊急事態宣言が発出され、学校もYMCAの多くの活動も休みが続き、夏休みの時期が確定していないことが理由の一つです。行政区により夏休みの期間が異なりましたが、例年1ヶ月を超える夏休みが、ほとんどの幼稚園や学校で2週間の設定となりました。お盆の時期は夏休みになるであろうと予測し、お盆の時期に限定して、富士山YMCAと三浦YMCAの隔離性のある施設でキャンプを設定しました。結果として、約170名の方がキャンプに申し込まれました。旅行業者の方と話す機会が何度かありましたが、このコロナ禍の状況下でこれだけの参加者を集め、キャンプを実施したことに驚かれています。YMCAのキャンプに期待を寄せていただいている方が多くいることに嬉しく思います。

今までのキャンプと特に変化したことが、説明会や顔合わせ会をリモートで実施したこと、スタッフ・リーダー紹介に動画を活用したこと。また、現地集合・解散のために15名以上の方がレンタカーを利用されていたことも挙げられます。

いずれのキャンプも参加者から体調不良者が出ることがなく、無事に終了することができました。冬のキャンプの準備を始める時期となりましたが、しばらく続くことが推測される

コロナ禍の中、今回の取組みを更に進化させ、メンバーの健やかな成長に寄与できればと考えています。



(三浦YMCAでのキャンプの様子)



例会出席	16名	在籍会員数	17名	各種記録	9月実績	年度累計
メンバー	12名	月間出席者数	12名	スマイル	3,000円	21,090円
ビジター	3名	メ-キャンプ	1名	-	-	-
ゲスト	1名	月間出席率	76%	-	-	-

《トピックス》

「つながりマスク」近況

辻 剛

浅羽俊一郎ワイズ（東京山手クラブ）からワイズドットコムで「つながりマスク」の提案があったのが4月13日でした。エクステンション委員会の有志で直ちに検討開始。5/5には「『つながりマスク』に参加しませんか！今日からスタートします。湘南・沖縄部の中でYMCAのご協力でまとまって推進できればと考えています。」と呼びかけました。

皆様が作ってくださった枚数も最初の贈呈時に316枚、（7/7）、そして今回（9/30）は672枚！なんと素晴らしいことでしょう！マスクを作ってくださる協力者も当初の7名から今や20名！会員以外の方が7名（メネットを含む）！感謝！感謝！

贈呈先も横浜YMCAの皆様のご協力で横浜中央Y、湘南とつかY、厚木Y、川崎Y、鶴見Y等々の専門学校の皆さん、更にとつかY関連としては、アフタースクールの学童クラス、泉区寄り添い型支援事業に参加しているメンバーの皆さん、横浜寿地区の皆さん、北見クラブ（北海道）、

つばめの杜保育所（宮城県山元町）、等々多方面にわたっています。

今回、「つながりマスクニュース」を作りました。これはつながり仲間の壁新聞、瓦版です。お互いに顔を知らない人も増えてきました。情報交換の場として利用してください。

—安全のために はなれていても

私たちはつながっています—



《例会報告》

10月度事務例会

日時・場所:10月13日（火）14:30～ @夢Café

1. 黙祷 2.会長挨拶

3.協議事項

3-1. 11月例会（27日17:00より）は中村靖さん（みんなの家、中村さんのご主人）に樹木にちなんだ卓話をしていただく。（P5参照）

3-2. TKBによる「みやま荘」に贈るマスク60枚の製作が佳境との報告があった。

3-3. 「つばめの杜保育所」向けのクリスマスカード作りを近日開始予定。

3-4. クラブ設立15周年記念行事として以下を行う。

- 5月の富士山例会は他クラブにも参加も募る。
 - 10周年以降のプリテンの合本を作る。
 - プリテンの15周年記念号を発行する。（6月号）
- ※富士山例会の持ち方（卓話者等）の検討要。

3-5. 国際・交流事業の進め方につき、区からの問い合わせに答える必要がある。クラブの方向としては、交流の実が困難な遠方クラブとのIBCは考えない。近隣の国内クラブとのDBCの可能性を検討する。

3-6. 会員増強活動として、以前会長から提示のあった「友達リスト」に知人・友人を記載して提出するよう要請があった。また、プリテンを届けたい知人・友人をメーリングリストに登録することとした。

4. 今後の行事予定

10/23（17:00～）本例会 卓話：坂口直樹氏

10/24（15:00～）次期部長選考委員会

11/10（14:30～）事務例会（都筑教会）

11/14～11/30 第23回チャラン（チームごとに実施し撮影記録する）

11/27（17:00～）本例会、卓話：中村靖氏

11/28（15:00～）第2回部評議会（中央Y）

12/1（19:00～）第89回Y-Y's協議会

当クラブ担当（中央Y）

12/8（14:30～）12月本例会として開催する予定。詳細は後日連絡。閉会后、クラブクリスマス会を開催。弁当を取りながら行う予定。

12/19（15:00～）横浜YMCAクリスマス会

（@紅葉坂教会、参加人数制限あり、Zoom併用）

5. 活動報告等

●部大会の席上、国際協会から表彰状が授与された。理由は、Challenge22の100日キャンペーンで会員増強があったこと。

●東日本区の法人化（一般社団法人）の検討が進んでいる。来年6月の区代議員会に上程の予定。

●部エクステンション委員会の「つながりマスク」が進んでおり、700枚以上を作成。117枚を「つばめの杜保育所」に寄贈。（以上）

